

平成 27 年度用小学校音楽

指導計画案

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・インターネット上で公開されている本資料は、弊社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽」に基づいて作成されております。

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、国立教育政策研究所が作成した「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料」を参考にして、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、1 時間当たり 1～2 項目に精選して評価規準を示しています。学習指導要領との関連で示した項目がすべての評価項目に反映されていないことがあります。学習内容の中には反映されていますので、授業時数や1年間の評価計画に応じて、ご設定ください。

【2 学期制への対応について】

- ・本資料は 2 学期制、3 学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。なお、各題材の関連やくくりなどを確認するための題材の系統性につきましては、「6 年間の題材の系統一覧」をご覧ください。

題材名	1. 明るい歌声をひびかせよう (4～5月)	扱い時数の目安
		7時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●音程やリズムに気を付けて階名で視唱したり、視奏したりしてハ長調の楽譜の読譜に慣れたり、呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌ったりする。 ●歌声の掛け合いや重なりに気を付けて聴き、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。 	
題材の意図		
<p>この題材では、3年生から指導が始まったハ長調の楽譜の視唱や視奏に、より慣れ親しみながら、歌声のもつよさを味わう学習を展開します。</p> <p>歌唱教材「いいことありそう」は長調の音階でつくられています。ハ長調の楽譜を見て階名で歌ったり、新学期のスタートにふさわしい歌い方を工夫しながら呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする学習を進めていきます。</p> <p>また、鑑賞教材には、モーツァルト作曲の二重唱の楽曲を取り上げています。男女二人の歌声のよさ、その掛け合いや重なりが生み出す面白さを味わって聴きましょう。</p> <p>「歌のにじ」ではハ長調の視唱や視奏の学習を重ねるとともに、和音の構成音から即興的に音を選んで旋律をつくる活動を行います。友達につくった旋律と重ねたり、歌とリコーダーの旋律を重ね合わせたりして、重なり合う響きを感じ取りながら演奏しましょう。</p>		
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
A表現 (1) 歌唱ア・ウ・エ (2) 器楽ア・エ B鑑賞 ア・イ・ウ [共通事項] ア (ア) 音色 、 リズム 、 旋律 、 音の重なり 、音階、調、フレーズ (イ) 問いと答え イ 付点8分音符、16分音符		

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①ハ長調の楽譜を見て歌詞や階名で歌う学習に進んで取り組もうとしている。 ②二重唱で歌われる音楽に興味・関心をもちながら、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ③主な旋律を聴きながら、自分の音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。	①歌に合う音を選び、試行錯誤しながら即興的に旋律をつくっている。 ②主な旋律と副次的な旋律の重なりを聴き取り、重なり合う響きのよさを感じ取りながら、音を合わせて演奏する表現を工夫している。	①ハ長調の楽譜を読み、音の高さやリズムに気を付けて歌ったり、ハ長調の楽譜を見て鍵盤ハーモニカで演奏したりしている。 ②主な旋律の歌声を聴きながら、音色に気を付けてリコーダーを演奏している。	①二人の歌声とその掛け合いや重なりを聴き取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、太字で示しています。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	いいこと ありそう	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ●旋律の特徴を感じ取り、主な旋律を歌う。 ●長調の音階について知り、音の高さに気を付けて階名唱する。 ●副次的な旋律を階名唱し、鍵盤ハーモニカで演奏する。 ●主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ハ長調の楽譜を見て歌詞や階名で歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察】 ◆ハ長調の楽譜を読み、音の高さやリズムに気を付けて歌ったり、ハ長調の楽譜を見て鍵盤ハーモニカで演奏したりしている。 【技① 演奏聴取】
2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらききましょう。	♪パパゲーノとパパゲーナの二重唱	3 4	<ul style="list-style-type: none"> ●男声と女声の歌声の掛け合いを感じ取って聴く。 ●掛け合いをする部分や重なっている部分に気を付けて聴く。 ●二人の歌声の掛け合いや重なりのおもしろさを感じ取りながら楽曲全体を聴き、想像したことを言葉で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆二重唱で歌われる音楽に興味・関心をもちながら、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 表情観察，行動観察，発言内容】 ◆二人の歌声とその掛け合いや重なりを聴き取り、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑① 発言内容，ワークシート】
リコーダーと合わせて、明るい声で歌いましょう。	歌のにじ ☆せんりつづくり	5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ●旋律の音の動きや特徴を感じ取りながら、主な旋律を歌う。 ●副次的な旋律を演奏する。 ●主な旋律と副次的な旋律を合わせて演奏する。 ●音の選び方を工夫して、「せんりつづくり」をする。 ●歌とリコーダーの旋律の重なり合う響きを感じ取りながら演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆主な旋律を聴きながら、自分の音を合わせて演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 表情観察，演奏観察】 ◆歌に合う音を選び、試行錯誤しながら即興的に旋律をつくっている。 【創① 演奏聴取】 ◆主な旋律と副次的な旋律の重なりを聴き取り、重なり合う響きのよさを感じ取りながら、音を合わせて演奏する表現を工夫している。 【創② 演奏観察，演奏聴取】 ◆主な旋律の歌声を聴きながら、音色に気を付けてリコーダーを演奏している。 【技② 演奏聴取】

題材名	2. 拍の流れによってリズムを感じ取ろう (6~7月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れによって表現する。 ●リズムの組合せを工夫したり、反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組みを生かしたりして言葉のリズムアンサンブルをつくる。 	
題材の意図	<p>この題材では、これまでに身に付けてきた拍の流れや拍子、リズムに対する感覚やそれを表現するための能力をより伸ばしていくことに重点を置いて学習を進めていきます。</p> <p>ギロやクラベスなどの特徴的なリズムパターンに合わせて歌う楽しさを味わったり、音楽の仕組みを生かしながら4文字の言葉のリズムを組み合わせる言葉によるリズムアンサンブルをつくったりする学習を展開します。</p> <p>また、拍子としては、3年生で学習した4分の2拍子、4分の3拍子、4分の4拍子に加えて、新たに8分の6拍子のできた教材を取り上げています。</p> <p>拍の流れを感じ取りながら、拍子やリズムによって表現を工夫する学習は、友達と心を合わせて合唱や合奏に取り組むうえで大切な基礎となるものです。子供たちが歌詞の内容や曲想から感じ取ったり想像したりしたことを生かしながら、基礎的な表現の能力を伸ばしていきましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律, 強弱, 音の重なり, 拍の流れ, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 問いと答え, 変化</p> <p>イ リピート記号, 8分の6拍子, p, mp, mf, <, ></p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①リズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れによって歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②打楽器の音色やリズムと旋律の重なりが生まれ出す曲想を感じ取りながら聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③言葉のリズムやその組合せに興味・関心を持ち、友達とリズムアンサンブルをつくる活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>④8分の6拍子の特徴を感じ取りながら、拍の流れによって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①言葉のもつリズムを聴き取り、拍の流れを感じ取りながらリズムを拡大したり縮小したりして組み合わせ、反復、問いと答え、変化などを生かしたリズムアンサンブルをつくり、どのような音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②リズムやフレーズを聴き取り、8分の6拍子の拍子感や、強弱の変化が生まれ出す曲の山を感じ取り、曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。</p>	<p>①友達の歌声や楽器の音を聴きながら、拍の流れによって、リズム伴奏を演奏している。</p> <p>②リズムの特徴を理解して、拍の流れによって、反復、問いと答え、変化などを生かしたリズムアンサンブルをつくっている。</p> <p>③発声や発音、フレーズに気を付け、歌詞の内容や曲想にふさわしい歌い方で歌っている。</p>	

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
拍の流れにのって、歌と打楽器を合わせてえんそうしましょう。	いろいろな木の実 ♪ブラジル	1 2 3	●旋律の特徴や打楽器のリズム伴奏の面白さを感じ取りながら歌う。 ●打楽器の音色やリズムの特徴を感じ取って聴く。 ●歌と打楽器を合わせて、拍の流れにのって演奏する。	◆リズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察，発言内容】 ◆打楽器の音色やリズムと旋律の重なりが生み出す曲想を感じ取りながら聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察，発言内容】 ◆友達の歌声や楽器の音を聴きながら、拍の流れにのって、リズム伴奏を演奏している。 【技① 演奏聴取】
くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。	☆言葉でリズムアンサンブル	4 5	●4文字の言葉のリズムを拡大したり縮小したりして、リズムをつくることに興味・関心をもつ。 ●二つのパートに分かれ、反復、問いと答え、変化を使って8小節のリズムアンサンブルをつくる。 ●グループのリズムアンサンブルをつくる。	◆言葉のリズムやその組合せに興味・関心をもち、友達とリズムアンサンブルをつくる活動に進んで取り組もうとしている。 【関③ 発言内容，行動観察】 ◆言葉のもつリズムを聴き取り、拍の流れを感じ取りながらリズムを拡大したり縮小したりして組み合わせ、反復、問いと答え、変化などを生かしたリズムアンサンブルをつくり、どのような音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 【創① 行動観察，発言内容，演奏聴取】 ◆リズムの特徴を理解して、拍の流れにのって、反復、問いと答え、変化などを生かしたリズムアンサンブルをつくっている。 【技② 演奏聴取】
歌詞から情景を思いうかべて、のびやかな声で歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎まきばの朝	6	●歌詞を理解し、情景を想像しながら歌う。 ●発声や発音、フレーズに気を付け、歌詞の内容や曲想にふさわしい歌い方で歌う。	◆発声や発音、フレーズに気を付け、歌詞の内容や曲想にふさわしい歌い方で歌っている。 【技③ 演奏聴取】
6拍子を感じながら歌いましょう。	風のメロディー	7 8	●曲想をつかみ、8分の6拍子の特徴を感じ取る。 ●8分の6拍子の拍の流れを感じ取りながら歌う。 ●旋律の音の動きを感じ取り、拍の流れにのって歌う。 ●強弱記号を知り、歌い方を工夫する。	◆8分の6拍子の特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関④ 表情観察，行動観察】 ◆リズムやフレーズを聴き取り、8分の6拍子の拍子感や、強弱の変化が生み出す曲の山を感じ取り、曲想にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えをもっている。 【創② 演奏聴取，発言内容，楽譜への記述内容】 ◆発声や発音、フレーズに気を付け、歌詞の内容や曲想にふさわしい歌い方で歌っている。 【技③ 演奏聴取】

題材名	3. せんりつのとくちょうを感じ取ろう (9~10月)	扱い時数の目安
		8時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●旋律の特徴にふさわしい歌い方や演奏の仕方を身に付け、曲想にふさわしい表現を工夫しながら思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。 ●旋律の特徴や曲想を感じ取りながら音楽を聴き、感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。 	
題材の意図	<p>この題材では、音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴を聴き取ったり、それらによって生まれる曲想を感じ取ったりしながら、表現と鑑賞の活動を進めていきます。</p> <p>これまでは音の上がり下がりが生み出す旋律の特徴を中心に学習してきましたが、ここではそれに加えて、スタッカートとレガートなどの旋律の特徴に気付き、それにふさわしい表現の仕方を工夫していくようにします。また、鑑賞では、聴き取り感じ取った旋律の特徴や曲想を言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、それを友達と共有し合うようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱ア・イ・ウ・エ (2) 器楽ア・イ・ウ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色、速度、旋律、強弱、音の重なり、フレーズ</p> <p>(イ) 反復、問いと答え</p> <p>イ スタッカート、1番かっこ、2番かっこ、f</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③楽器の音色、旋律の特徴などが醸し出す曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①旋律の特徴を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫している。</p> <p>②旋律、強弱、フレーズ、問いと答えを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもっている。</p>	<p>①音色に気を付けて重なり合う音を聴き合い、旋律の特徴を生かしながらリコーダーを演奏している。</p> <p>②旋律の特徴を感じ取り、曲想にふさわしい表現でリコーダーを演奏している。</p> <p>③呼吸及び発音の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌っている。</p> <p>④友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて二部合唱している。</p>	<p>①曲想とその変化や旋律の特徴など音楽を形づくっている要素のかかり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつのとくちょうにふさわしいふき方でえんそうしましょう。	陽気な船長 せいじゃの行進	1 2 3	●旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取る。 ●旋律の特徴を生かして演奏する。 ●重なり合う響きを感じ取ってリコーダー二重奏をする。 ●旋律の特徴による曲想を生かした演奏を工夫する。 ●互いの表現のよさを聴き合い、曲想にふさわしい演奏のよさを感じ取る。	◆旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察、演奏観察】 ◆音色に気を付けて重なり合う音を聴き合い、旋律の特徴を生かしながらリコーダーを演奏している。 【技① 演奏聴取】 ◆旋律の特徴を聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫している。 【創① 演奏観察、演奏聴取】 ◆旋律の特徴を感じ取り、曲想にふさわしい表現でリコーダーを演奏している。 【技② 演奏聴取】
せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。	ゆかいに歩けば	4 5	●旋律の特徴を感じ取って、主な旋律を歌う。 ●旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。 ●旋律の特徴を生かして二部合唱する。	◆歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 表情観察、演奏観察、発言内容】 ◆呼吸及び発音の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない歌い方で歌っている。 【技③ 演奏聴取】 ◆友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて二部合唱している。 【技④ 演奏聴取】
せんりつのおのりの音が上り下りを感じ取って、強さをくふうしながら歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎とんび	6 7	●歌詞の表す情景を想像し、曲の感じをつかんで歌う。 ●旋律の音の動きに合う強弱を工夫して歌う。 ●歌詞の内容や旋律の特徴に合う強弱を工夫して歌う。	◆歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 表情観察、行動観察、発言内容】 ◆旋律、強弱、フレーズ、問いと答えを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもっている。 【創② 発言内容、ワークシート、演奏聴取】
せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましよう。	♪白鳥 ♪美しきロスマリン	8	●2曲を聴き比べ、楽器の音色や曲の感じの違いに気付く。 ●「白鳥」の曲の特徴を感じ取って聴き、言葉などで表す。 ●楽曲のよさや演奏のよさに気付いて聴く。	◆楽器の音色、旋律の特徴などが醸し出す曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 行動観察、発言内容、ワークシート】 ◆曲想とその変化や旋律の特徴など音楽を形づくっている要素のかかり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑① 発言内容、ワークシート】

題材名	4. せんりつの重なりを感じ取ろう (10~11月)	扱い時数の目安
		7時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●旋律が重なり合う響きを感じ取りながら、旋律の特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫したり、互いの歌声を聴いて声を合わせて歌ったりする。 ●旋律の特徴、旋律の反復や重なりによる曲想とその変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。 	
題材の意図	<p>この題材では、これまでの学習を通して身に付けてきた、自分や友達の歌声、あるいは楽器の音を聴き合いながら、みんなで声や音を合わせて演奏する能力をさらに伸ばして、旋律が重なり合うきれいな響きを味わうことができるように学習を進めていきます。</p> <p>前半と後半の旋律を重ねて歌うことができるパートナーソングとしての歌唱教材と、異なる特徴をもつ旋律の重なり合いや掛け合いを楽しむことができる鑑賞曲を活用し、表現と鑑賞を関連させて取り上げることで、旋律の反復や重なりが生み出す曲想を味わい、それを生かして楽曲の構造に気を付けて音楽を聴くことができるようにします。</p> <p>また、リコーダーのサミングについては単独の題材として取り上げず、本題材に含めていますが、行事の時期など学校の実態に応じて別の題材に組み込むなど、ほかの教材と組み合わせて取り上げることが考えられます。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱イ・ウ・エ (2) 器楽ア・ウ・エ B鑑賞 ア・イ・ウ [共通事項] ア (ア) 音色, 旋律 , 音の重なり , フレーズ (イ) 反復, 変化	

※本題材の学習内容に関連する [共通事項] を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①旋律の特徴や重なりに興味・関心をもち、友達の歌声を聴きながら、自分の声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。 ②旋律の特徴や重なり、反復や変化が生み出す曲想とその変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ③楽器の音色に気を付けながら旋律の特徴を生かして演奏する学習に進んで取り組もうとしている。	①旋律やその重なりを聴き取り、それらが生み出す特徴を感じ取って、互いの旋律が生きるように歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②サミングの仕方を覚え、旋律に合う息のつかい方や音色に気を付けながらリコーダーを演奏している。 ③友達の歌声や副次的な旋律を聴きながら、自分の声を合わせて、曲想にふさわしい表現で歌っている。	①異なる旋律の重なり合いを感じ取りながら、旋律の特徴を生かして歌っている。 ②サミングの仕方を覚え、旋律に合う息のつかい方や音色に気を付けながらリコーダーを演奏している。 ③友達の歌声や副次的な旋律を聴きながら、自分の声を合わせて、曲想にふさわしい表現で歌っている。	①旋律の重なりや掛け合いが生み出す響きの面白さや美しさを感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴いている。

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	パレード ホッホー ♪ファランドール	1 2 3	<p>●曲の感じをつかみ，旋律の特徴を感じ取る。</p> <p>●アとイの旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。</p> <p>●主な旋律の特徴を感じ取って聴く。</p> <p>●旋律の重なりや掛け合いが生み出す響きの面白さや美しさを感じ取りながら聴く。</p> <p>●アとイの旋律を重ねて歌い，旋律が重なり合う面白さを感じ取る。</p>	<p>◆旋律の特徴や重なりに興味・関心をもち，友達の歌声を聴きながら，自分の声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関① 表情観察，演奏観察，発言内容】</p> <p>◆旋律の特徴や重なり，反復や変化が生み出す曲想とその変化を感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関② 表情観察，行動観察，発言内容】</p> <p>◆旋律の重なりや掛け合いが生み出す響きの面白さや美しさを感じ取りながら，楽曲の構造に気を付けて聴いている。</p> <p>【鑑① 行動観察，発言内容，ワークシート】</p> <p>◆異なる旋律の重なり合いを感じ取りながら，旋律の特徴を生かして歌っている。</p> <p>【技① 演奏聴取】</p>
サミングをおぼえてリコーダーをふきましょう。	雨の公園 ハッピー パースデイ トゥ ユー	4 5	<p>●サミングの演奏の仕方を知る。</p> <p>●高いミの音の出し方に気を付けて「雨の公園」を演奏する。</p> <p>●音の重なりを感じ取りながら「雨の公園」を輪奏する。</p> <p>●高いミ，ファ，ソの音の出し方に気を付けて，「ハッピー パースデイ トゥ ユー」を演奏する。</p>	<p>◆楽器の音色に気を付けながら旋律の特徴を生かして演奏する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関③ 行動観察】</p> <p>◆サミングの仕方を覚え，旋律に合う息のつかい方や音色に気を付けながらリコーダーを演奏している。</p> <p>【技② 演奏聴取】</p>
声が重なり合う美しさを感じて歌いましょう。	◎もみじ	6 7	<p>●歌詞の表す情景を想像し，主な旋律を歌う。</p> <p>●前半の副次的な旋律を知り，前半部分を二部合唱する。</p> <p>●後半の副次的な旋律を知り，後半部分を二部合唱する。</p> <p>●互いの演奏を聴き合い，よりよい合唱になるように表現を工夫する。</p>	<p>◆旋律の特徴や重なりに興味・関心をもち，友達の歌声を聴きながら，自分の声を合わせて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関① 表情観察，演奏観察，発言内容】</p> <p>◆旋律やその重なりを聴き取り，それらが生み出す特徴を感じ取って，互いの旋律が生きるように歌い方を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【創① 発言内容，演奏聴取】</p> <p>◆友達の歌声や副次的な旋律を聴きながら，自分の声を合わせて，曲想にふさわしい表現で歌っている。</p> <p>【技③ 演奏聴取】</p>

題材名	5. いろいろな音のひびきを感じ取ろう (11~12月)	扱い時数の目安
		9時間
題材のねらい	<p>●楽器の音の特徴や音色の違い、旋律の特徴を感じ取りながら聴いたり、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて音を合わせて演奏したりする。</p> <p>●楽器の音の特徴や音色の違いを生かして、音の組合せを工夫して演奏したり、音の重ね方や反復を生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。</p>	
題材の意図	<p>3年生の題材「5.いろいろな音のひびきをかんとろう」と関連するこの題材では、音色を中心に音の重なりや音楽の仕組みとのかかわりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めていきます。特に、材質による音の特徴をとらえて音の組合せを工夫したり、その響きの違いを生かしながら自分なりの発想をもって表現したりする学習を体験します。鑑賞では、3年生で金管楽器の音楽に親しんだ学習経験を踏まえ、ここでは木管楽器がもっている固有の音の美しさを味わうようにします。</p> <p>こうした表現と鑑賞の学習で身に付けたことを生かして、4年生の中心的な合奏教材である「茶色の小びん」に取り組みます。パート間の音量のバランスに配慮しながら、いろいろな楽器の音が重なる豊かな響きを味わって演奏するとともに、互いの音を聴き合って演奏することの喜びを味わうようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (2) 器楽ア・イ・ウ・エ (3) 音楽づくりア・イ</p> <p>B鑑賞 ア・イ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 旋律, 強弱, 音の重なり, 拍の流れ, フレーズ (イ) 反復, 問いと答え, 変化</p> <p>イ シャープ</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、太字で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①木管楽器の音色に興味・関心を持ち、旋律の特徴や楽曲全体にわたる曲想とその変化などを感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②打楽器や体を使って出す音の音色や響きに興味・関心を持ち、その組合せや鳴らす順番を工夫する学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③打楽器の音の特徴や音色から発想を得て即興的に表現したり、強弱、音の重なり、反復、変化などを生かしてまとまりのある音楽をつくったりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①打楽器の音色を聴き取り、その特徴や違いを感じ取りながら、楽器の材質や鳴らす順番の違いが生み出す面白さを生かした音の出し方や組合せを工夫している。</p> <p>②打楽器の音の特徴や音色、強弱、音の重なり、反復、変化を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の響きの組合せを工夫し、どのように音楽をつくるかについて発想をもっている。</p> <p>③主な旋律や副次的な旋律を聴き取り、その特徴を感じ取って、パートに合った音色を選んだり、音量のバランスや楽器の演奏の仕方を工夫したりしている。</p>	<p>①拍の流れにのり、音の特徴や音色の違いを生かして楽器を演奏している。</p> <p>②音の重ね方、反復や変化など音楽の仕組みを生かして、まとまりのある音楽をつくっている。</p> <p>③友達の楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴きながら、自分の音を合わせて合奏している。</p>	<p>①楽器の音色や旋律を聴き取り、音色の違いや美しさ、旋律の特徴を感じ取り、それを言葉や体の動きなどで表して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
フルートとクラリネットの ひびきに親しみましょう。	♪メヌエット ♪クラリネット ポルカ	1	<ul style="list-style-type: none"> ●フルートとクラリネットについて知り、音色に親しむ。 ●フルートとクラリネットの音色の美しさや旋律の特徴を感じ取って聴く。 ●楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴き、言葉で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆木管楽器の音色に興味・関心をもち、旋律の特徴や楽曲全体にわたる曲想と その変化などを感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察，発言内容】 ◆楽器の音色や旋律を聴き取り、音色の違いや美しさ、旋律の特徴を感じ取り、 それを言葉や体の動きなどで表して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いて いる。 【鑑① 発言内容，ワークシート，行動観察】
音の組み合わせを考えて、 歌と合わせてえんそうしま しょう。	音のカーニバル	2 3	<ul style="list-style-type: none"> ●曲全体の感じをつかみ、主な旋律を歌う。 ●主な旋律とリズムパートを合わせる。 ●音色の違いを生かして音の組合せを工夫する。 ●拍の流れによって、歌と打楽器のリズムを合わせて演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆打楽器や体を使って出す音の音色や響きに興味・関心をもち、その組合せや鳴ら す順番を工夫する学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 行動観察，表情観察，演奏聴取】 ◆打楽器の音色を聴き取り、その特徴や違いを感じ取りながら、楽器の材質や鳴ら す順番の違いが生み出す面白さを生かした音の出し方や組合せを工夫している。 【創① 行動観察，発言内容，演奏聴取】 ◆拍の流れにより、音の特徴や音色の違いを生かして楽器を演奏している。 【技① 演奏聴取】
音のとくちょうを生かして 音楽をつくりましょう。	☆打楽器の音楽	4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ●図形を手掛かりとして、打楽器の音の特徴や音色から発想を得て、即 興的に表現する。 ●楽器の音の組合せ、音の重ね方、反復や変化を生かして、グループの 音楽をつくる。 ●始め、中、終わりの構成を意識して、まとまりのあるグループの音楽 をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆打楽器の音の特徴や音色から発想を得て即興的に表現したり、強弱、音の重なり、 反復、変化などを生かしてまとまりのある音楽をつくったりする学習に進んで取 り組もうとしている。 【関③ 表情観察，行動観察，発言内容，演奏聴取】 ◆打楽器の音の特徴や音色、強弱、音の重なり、反復、変化を聴き取り、その働き が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の響きの組合せを工夫し、どのよ うに音楽をつくるかについて発想をもっている。 【創② 行動観察，発言内容，演奏聴取，ワークシート】 ◆音の重ね方、反復や変化など音楽の仕組みを生かして、まとまりのある音楽をつ くっている。 【技② 演奏聴取，ワークシート】
ゆたかなひびきを味わいな がらえんそうしましよう。	茶色の小びん	7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> ●拍の流れによって、主な旋律を演奏する。 ●音色に気を付けながら、副次的な旋律、和音、低音のパートを演奏す る。 ●各パートの音量のバランスに気を付けて、拍の流れによって合奏す る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆拍の流れにより、音の特徴や音色の違いを生かして楽器を演奏している。 【技① 演奏聴取】 ◆主な旋律や副次的な旋律を聴き取り、その特徴を感じ取って、パートに合った音 色を選んだり、音量のバランスや楽器の演奏の仕方を工夫したりしている。 【創③ 演奏観察，発言内容，演奏聴取】 ◆友達の楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴きながら、自分の音を合わせて合奏し ている。 【技③ 演奏聴取】

題材名	6. 日本の音楽に親しもう (1~2月)	扱い時数の目安
		7時間
題材のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。 ●日本の旋律の特徴を感じ取り、音を音楽に構成する過程を大切にしながらまとまりのある旋律をつくる。 	
題材の意図	<p>この題材では、歌い方や拍の流れに注目して民謡を鑑賞し、古くから伝わる我が国の音楽に親しみながら、その雰囲気や特徴を感じ取る学習を進めます。鑑賞を通して感じ取ったことや気付いたことを発表し合うことで、我が国や郷土に伝わる音楽のよさや特徴をあらためて見直す機会にします。また実態に応じて、日本の民謡を聴いて感じ取ったことや気付いたことを参考にしながら、参考曲として示されている他国の民謡や巻末ページで紹介されている各地の民謡を鑑賞するとよいでしょう。</p> <p>さらに、3年生でラ、下、レの三つの音を使って旋律づくりをした経験を生かし、ここでは五つの音を使った旋律づくりを学習します。これは5年生で行う日本の音階の音を使った旋律づくりへとつながります。</p> <p>なお、共通教材の「さくら さくら」については、本題材で取り上げる以外にも、桜が開花するタイミングに合わせて歌って親しむようにするとよいでしょう。この体験を生かして、5年生では「さくら さくら」を箏で演奏して和楽器に親しむ学習を取り上げています。</p>	
学習指導要領との関連	<p>ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み</p> <p>イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語</p>	
	<p>A表現 (1) 歌唱イ・ウ (2) 器楽イ (3) 音楽づくりイ</p> <p>B鑑賞 ア・イ・ウ</p> <p>〔共通事項〕ア (ア) 音色, リズム, 速度, 旋律, 音の重なり, 音階, 拍の流れ, フレーズ</p> <p>(イ) 反復, 変化</p>	

※本題材の学習内容に関連する〔共通事項〕を例示し、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
<p>①郷土の音楽に興味・関心をもち、楽曲の特徴に気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②郷土の音楽やその曲想に興味・関心をもち、それにふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>③五音音階に興味・関心をもち、リズムや音を組み合わせる学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①楽器の音色、リズムやフレーズを聴き取り、我が国の音楽の旋律の特徴を感じ取り、それに合う楽器の音色やリズムの組み合わせ方を工夫している。</p> <p>②リズムや五音音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って、拍の流れによってリズムや音の組み合わせを工夫し、どのような旋律をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。</p>	<p>①日本語の発音や呼吸の仕方に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない声で歌っている。</p> <p>②リズムや音の組合せを工夫して、まとまりのある旋律をつくっている。</p>	<p>①我が国やアジアの民謡の歌声やリズム、旋律などの特徴や違いを感じ取り、感じ取ったことを言葉で表すなどして、それぞれの楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p> <p>②箏の音色の特徴、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴いている。</p>

学習目標	教材名 ◎…共通教材 ♪…鑑賞 ☆…音楽づくり	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
音楽のとくちょうを感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。	♪ソーラン節 ♪南部牛追い歌 ♪トラジ打令 ♪小さな淡黄色の馬	1 2	●郷土の音楽の背景を知り、曲想を感じ取って聴く。 ●2曲を聴き比べ、旋律やリズムの特徴を感じ取る。 ●楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉で表す。 ●リズムや歌声に気を付けてアジアの民謡を聴く。	◆郷土の音楽に興味・関心をもち、楽曲の特徴に気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【関① 表情観察，行動観察，発言内容】 ◆我が国やアジアの民謡の歌声やリズム，旋律などの特徴や違いを感じ取り，感じ取ったことを言葉で表すなどして，それぞれの楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。 【鑑① 発言内容，ワークシート】
日本の音楽のふんいきを感じ取ってえんそうしましょう。	こきりこ	3 4	●曲の感じをつかみ，旋律の特徴を感じ取って歌う。 ●主な旋律と副次的な旋律を重ね合わせて歌う。 ●曲想に合うリズム伴奏をつくる。 ●歌と楽器を合わせて演奏する。	◆郷土の音楽やその曲想に興味・関心をもち，それにふさわしい表現を工夫して，思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 【関② 表情観察，演奏観察】 ◆楽器の音色，リズムやフレーズを聴き取り，我が国の音楽の旋律の特徴を感じ取り，それに合う楽器の音色やリズムの組み合わせ方を工夫している。 【創① 行動観察，演奏聴取】 ◆日本語の発音や呼吸の仕方に気を付けて，曲想にふさわしい自然で無理のない声で歌っている。 【技① 演奏聴取】
5つの音で，おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ミソラドレの音でせんりつづくり	5 6	●音符カードを使って，4分の4拍子で2小節のお囃子のリズムをつくる。 ●三つの音で即興的に旋律をつくる。 ●つくったリズムと五つの音を使って，お囃子の旋律をつくる。 ●つくった旋律を友達とリレーして，リコーダーで演奏する。	◆五音音階に興味・関心をもち，リズムや音を組み合わせる学習に進んで取り組もうとしている。 【関③ 表情観察，行動観察】 ◆リズムや五音音階を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取って，拍の流れにのってリズムや音の組合せを工夫し，どのような旋律をつくるかについて自分の思いや意図をもっている。 【創② 演奏聴取，ワークシート】 ◆リズムや音の組合せを工夫して，まとまりのある旋律をつくっている。 【技② 演奏聴取】
日本語の美しさや日本のせんりつを感じを生かして歌いましょう。	◎さくら さくら ♪さくら さくら	7	●歌詞を理解し，情景を想像して歌う。 ●箏の音色の特徴，楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く。	◆日本語の発音や呼吸の仕方に気を付けて，曲想にふさわしい自然で無理のない声で歌っている。 【技① 演奏聴取】 ◆箏の音色の特徴，楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴いている。 【鑑② 発言内容，ワークシート】

題材名	7. 曲の気分を感じ取ろう (2~3月)	扱い時数の目安
		6時間
題材のねらい	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏したり、曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。	
題材の意図	<p>中学年では、表現と鑑賞の様々な活動を通して、拍の流れやリズム、旋律、強弱、音色、音の重なり、音階や調などについて学習しながら、音楽的な感性や表現の技能、鑑賞の能力などを伸ばすことを段階的に進めてきました。</p> <p>4年生最後のこの題材では、これまでの学習のまとめとして、歌詞の内容や旋律の特徴から曲想を感じ取り、表情豊かな表現を工夫しながら演奏したり、音楽を形づくっている要素を手掛かりにしながら想像豊かに聴く喜びを味わったりすることができるように学習を展開します。5年生の音楽学習への橋渡しをしながら、中学年の学習を締めくくります。</p>	
学習指導要領との関連	ア 音楽を形づくっている要素のうち、(ア)の音楽を特徴付けている要素及び(イ)の音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語	
	A表現 (1) 歌唱イ・ウ (2) 器楽ア・イ・ウ・エ B鑑賞 ア・イ・ウ 【共通事項】ア (ア) 音色, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり, 拍の流れ, フレーズ (イ) 反復, 変化	

※本題材の学習内容に関連する【共通事項】を例示し、核となるものについては、太字で示しています。

題材の評価規準			
音楽への関心・意欲・態度(関)	音楽表現の創意工夫(創)	音楽表現の技能(技)	鑑賞の能力(鑑)
①歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。 ②楽曲全体にわたる曲想とその変化を味わって聴く学習に進んで取り組もうとしている。	①声の響きや速度、旋律や強弱を聴き取り、旋律の音の動きや強弱の働きが生み出す効果を感じ取りながら、曲想にふさわしい歌い方を工夫し、どのように歌うかについて自分の思いや意図をもっている。 ②楽器の音色や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出す美しさを感じ取り、息のつかい方や音色に気を付けるなど、自分の考えをもって曲想にふさわしい表現を工夫している。	①歌詞の内容や旋律の特徴から曲想を感じ取り、それにふさわしい表現で歌っている。 ②範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりしてリコーダーを演奏している。 ③互いの楽器の音や旋律を聴きながら、自分の音を合わせてリコーダーを演奏している。	①旋律の反復、速度や強弱の働きが生み出す曲想とその変化を感じ取り、それを友達と話し合うなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わって聴いている。

